

マナーのツボ

相手の名前が出てきません



名前はその人のアイデンティティ。間違えて呼んだり、漢字を間違えたりするのはマナー違反です。うっかり忘れることはあっても、相手からすれば失礼です。

先日、駅のホームである男性から挨拶をされましたが、不覚にも思い出せません。すぐに立ち去る風でもなく、どうやら同じ電車に乗るようです。困りました。

こんな時、無邪気を装い「どちら様でしたっけ」と聞くことができたら、それも一つの方法です。相手が名乗れば「実は覚えてましたよ」と笑い合うのもすてきなコミュニケーションだからです。

しかしそれには、場の雰囲気や

会話にヒント 改めて自己紹介も手

話し手の個性が必要です。もしも相手が仕事関係の場合、羽目を外しすぎると仕事に支障が出る可能性があります。ここは丁寧に控えめなやり取りを心掛け、会話のヒントから推理するのが近道です。

まずは自分のことを話して、反応を見ましょう。例えば「先日、事務所を引っ越しました」と伝えただころ「以前はどちらに」と返ってきた。その場合は仕事関係ではなさそうだと推理できます。幸いこのときは「腰の具合はいかがですか。足もよく上がってますね」と言われたので、すぐに腰痛でお世話になった整形外科の先生だと分かりました。

「名刺が変わりましたのでよろしくお願い致します」などと改めて自己紹介するのも良い方法です。とっさのことでも慌てたりせず、笑顔で接したいものです。

(ビジネスマナー講師

美月 あきこ)